



★八王子中だより★

★学校教育目標 『 大志を抱け ひとみ輝く 八中生 』
～ 賢く 豊かに 逞しく ～



★令和8年4月28日(火) さいたま市立八王子中学校学校だより 5月号

★HP アドレス <http://hachioji-j.saitama-city.ed.jp/> (生徒の学校生活の様子等をHPにアップしています)

コミュニケーション

校長 酒井 和浩



令和8年度がスタートして約1か月がたちました。生徒も少しずつ学校生活にも慣れ、元気な声が響き渡るようになってきました。5月23日には大きな行事の1つである体育祭も開催します。活気ある学校をぜひご覧いただければと思います。

朝、正門であいさつをしていると、「おはようございます」と元気な声であいさつが返ってきます。1年生も例外ではなく、中には笑顔であいさつをしてくれる生徒もいます。これは当たり前のことでは

なく、中学校での声掛けはもちろんのこと、本校生徒1人ひとりがしっかりと意識をしていること、そして、小学校における指導がしっかりしていること、さらに地域の方のご協力が大きな要因だと思います。本校では、小・中合同の学校運営協議会が設置されており、「エージェンシーの育成」を軸に、9年間の育成プランを計画・実行しており、小学校からの取組が少しずつ実を結んでいることが伺えます。例年3年生に「あなたの学校の自慢できることは？」と聞くと、「あいさつがしっかりできることです」と答える生徒も多かったですが、4月には生徒指導主任から「さいたま市一番のあいさつができる学校に」との話もありました。あいさつは心を通わせる第1歩となります。知らない相手でも、相手の顔を見て笑顔であいさつをすることで心を開き、会話のキャッチボールへとつながります。そして、気持ちよい人間関係の構築へつながります。今後とも、明るいあいさつが学校・家庭・地域全体で広がっていくよう取り組んでまいります。

一方で、相手と実際に会わなくてもコミュニケーションを行う時代となっています。社会ではリモート会議も多くなり、会議の代わりに You Tube 等を活用し、一方的に配信することも多くなっています。また、情報発信もSNSなどが多く活用されています。ICTの発達で、対面によるコミュニケーションがだんだんと少なくなっているような気がします。対面によるコミュニケーションの良さは、相手の表情や口調を即座に感じ取り、相手を思いやることができることにあると思います。伝えたいことがダイレクトに伝わるとともに、うまく伝わらない場合でもすぐに訂正ができ、その場で解決することも多いはずで、先日インターネット安全教室が開催され、埼玉県警察の方より、SNSトラブルについて「自分が被害者にならないように」、「自分が加害者にならないように」の2つの側面からご指導をいただきました。これらの面を踏まえても、顔を合わせたコミュニケーションはとても大切だと感じております。顔を合わせてコミュニケーションをとることで、トラブルのない、安全な生活を送ってほしいと願っています。

5月1日は「さいたま市民の日」です。学校も休みとなり、市内各所でいろいろな催し物が開催され、たくさんの施設が無料で見学できます。家族や友達と参加し、楽しい時間を共有しながらコミュニケーションを行い、良好な関係を広げていただければと思います。また、ご家庭でもお子様と話をする機会をさらに設けていただけると幸いです。